



# 名古屋大須ロータリークラブ

2009-2010年度 R.I.会長  
ジョン・ケニー John Kenny  
Rotary International President

## THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-OSU WEEKLY REPORT

### No.1039

<本年度クラブ会長方針>

### やっぱり、大須ロータリークラブだね

承認 1985年2月12日 例会日 木曜日 12:30 例会場 名古屋東急ホテル  
会長 内藤 明 事務局 名古屋市中区栄4丁目6番5号 丸越ビル6F  
幹事 柴岡 正将 電話 (052)251-0181 FAX (052)251-0337 〒460-0008  
URL http://www.nagoya-osu.org E-mail office@nagoya-osu.org



### 第1225回例会

平成21年7月23日(木)  
於 名古屋東急ホテル  
出席計算数 会員83名  
52名中45名出席  
出席率86・54%  
前及回出席率98・21%

#### 「ロータリーソング」

指揮者 前田 隆久  
ピアノ伴奏 富板 玲子

#### ゲスト

派遣青少年交換学生

渡辺 観水さんの息子さん 渡辺 玄くん

#### 「ニコボックス」

犬飼さんお世話になりました。

川畑さん、うまく判りやすくお話し下さい。  
草野 勝彦

川畑さんよろしくお願ひします。  
岡村 隆徳

暑いですね。  
岡村君お帰りなさい。岩崎 征一  
横井 衛

岡村くん元気ですか？子供がお世話になります。  
渡辺 観永

先日は尾上さんありがとうございました。  
照井 栞  
前田 隆久

#### 会長挨拶

内藤 明

皆さん、こんにちは。会員の犬飼芳雄さんには急逝されました。残念です。淋しくなりました。唯合掌するばかりです。

先週は岡村昂幸君が帰国し、ラウフが帰りました。国際奉仕委員会の皆さん及び、ホストファミリーのご家族には大変ご苦勞様でした。御礼申し上げます。

お盆の話の第一弾です。この世とあの世の間を故人の霊魂が行き来する為の「精霊馬」。キュウリを馬、ナスを牛に見立て、折った麻幹や割り箸等を四本刺して足とします。足の速い馬であるキュウリには「あの世から早く家に戻ってくるように」、歩みの遅い牛のナスには「あの世へ帰るのが遅くなるように」という願ひが込められています。

今年のお盆は家族の事、先祖の事、そして遠い過去から今日迄、連続と続いている「いのち」について、考えてみては如何でしょうか。

#### 卓話

#### 「1-Mについて」

ガバナー補佐幹事 川畑 博敬

新しい年度7月に入りまして、正式に草野勝彦さんが第760地区ガバナー補佐に就任されました。ガバナー補佐の最重要課題は



何と云っても1-Mを成功させる事です。

西名古屋分区分13 R.C.、会員総数1160名を対象に名古屋大須ロータリークラブが総力をあげてホストをつとめるインターシティミーティングが来年2月18日(木)にこの東急ホテルで開催されます。表示されている通り当日まで2009年と迫ってまいりました。

今までは1-M実行委員会の中で基本方針を形作るべく、毎月協議を重ねてまいりましたが、新年度に入りまして、毎月一回例会で進捗状況を発信させていただきたいと思ひます。

そして、皆様の「ご意見を反映させながら、名古屋大須ロータリークラブ全体の1-Mに進化させていきたい」と思っておりますので、ご協力の程よろしくお願ひ致します。それでは、今までは1-M実行委員会、協議を重ねてまいりました内容を以下の順序に従って説明いたします。

1. 1-Mについての基本的なコンセ

- 1. プレゼンテーション
- 2. テーマについて
- 3. 具体的な1-Mのテーマをどのように実現していくのかについて
- 4. そしてその活動提案を1-Mでどのように説明しようとするのかについて

まず、基本的なコンセプトについてですが、本来1-Mとはつまりインターシティミーティングですが、直訳しますと都市に集うロータリアンの全員討論会ということになります。具体的にはホストクラブがこれからのロータリー活動において必要と思われるテーマを明確に打ち出し、その趣旨説明を行い、具体的にどのような奉仕活動をとるべきかを提示してその内容をみんなでミーティングする場であり、従いまして、その内容を全て網羅しようとする時間関係は上過去行われていたパストガバナーの紹介や各クラブの紹介は割愛せざるを得ません。また有名講師による単なる講演はミーティングという1-Mの本来の姿からかけ離

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA OSU

Intercity Meeting

2010 2.18まで

あと 202 日

れるので講演会形式はやめます。  
今回、私たち名古屋大須ロータリークラブは、I-M本来の姿をきちんと打ち出していきたいと考えています。

そこで一番重要となるテーマですがメインテーマを『今、地球の水が危ない』、サブテーマを『美しい未来へ責任ある第一歩、第2760地区から始めよう』と定めました。つまり水です。

日本では、蛇口から出た水の前のように出ている水ですが、今でも飲料水の確保がままならない地域が世界中いたるところで見受けられます。現代では、地球温暖化やアジア・アフリカを中心とした人口増加により、さらに水問題は深刻になり水の価格が上昇し、それに連動して食料価格も高騰し、飢えなどの渇きに苦しむ時代が近い将来起ると言われています。今でもペットボトルの水の方がノンリンよりも価格が高いのです。その水をめぐる紛争が世界的に今後さらに多くなっていく状況の中で私たちロータリアンがさきを



となつてこの水問題の重要性を取り上げ、世に警鐘を打ち鳴らす必要があるのです。

未来の子供たちのためにそして全ての地球上の生物種のために、私たちの責任が今問われているのです。この第2760地区、西名古屋分区のI-Mから全世界のロータリアンに情報を発信し具体的な行動を喚起させようではあきませんか。

それでは、具体的にどのようにこの活動を実現していくのかであります。私たちがロータリーは素晴らしい団体で、未来の奉仕活動を実践していくための計画をもつすでに試験的段階にまで立ち上げています。

それは、ロータリー財団の未来の夢計画と呼ばれるもので、6つある重点分野の一つを満たせばまとまった補助金を出してプロジェクトを支援するというものです。

この重点分野の中の、「平和と紛争予防」そして「水と衛生設備」の2つの分野が今回のテーマに適合します。従って、世界の全ての人々が飲める水を、そして汚染から地球を守り美しい水を世界的に確保する活動を実施するための資金の用途は決まっています。あ

必要なのは、我々ロータリアンの情熱と未来に対しての責任感と、後は行動力だけではないです。



ようか？  
さて、以上のコンセプトを、今回のI-Mでいかに説明し説得していくかです。

まず、初めに、草野力バナー補佐より今回のI-Mの主旨説明と『今、地球の水が危ない』美しい未来へ責任ある第一歩、2760地区から始めようI-Mをテーマに西名古屋分区全体で奉仕活動をする必要性を格調高くスピーチしてもらいます。

そして、次にビジュアルで、水についての認識、世界の水事情、地球温暖化と人口増加によって引き起こされる将来の紛争、そしてロータリー財団の未来の夢計画について、提案とその問題点を会場のロータリアンに示しながら、質問形式で参加者全員に参加型として、『水』に対する実活動の必要性を認識させていこうと考えています。

また、丁度来年は愛知県でCOP10が開催されます。

COP10とは、正式には「第10回生物多様性条約締約国会議」と申しまして、私たちの命と暮らしを支える生物の多様性を保全することを目的とした国際間の約束をお互いが遵守する条約に賛同した

国々の地球環境保全の会議です。そして、今回の私たちのI-MをCOP10のパートナーシップ事業の一つと位置づけ登録をします。

つまり水は、人類だけのものではなく、地球上に生息する約300万種の生物種のものであり、これ以上の生態系の破壊は地球上の全ての生物の絶滅につながるという内容をアピールするものです。

今回の私たちのI-Mでは、このアピールをより参加者に理解いただくための手段として、登山家で世界最高峰エベレストの女性世界初登頂者の田部井淳子さんをゲストとしてお招きし、登山家という目から『水』の重要性、必要不可欠な水の大切さを訴えてもらいます。それは単に山を登る行動からの情報発信だけではなく、地球そのものの水を取り巻く環境の重要さをお話していただきたいと思います。

そして最後に、かつてロータリー財団の奨学生であった指揮者の松尾葉子さんと当クラブの照井隼さんとのショートのクシヨの

後、愛知室内オーケストラによる『水』をイメージした曲を演奏してもらい今回のI-Mの目的を認識してもらおう場とします。

以上がI-M実行委員会でご話し合われてきた内容の概略ですが、ピ



ジュアルについては田崎さんより、また、音楽については照井さんよりご報告していただきます。  
最後に鬼頭さんより名古屋大須ロータリークラブの会員全員の役割分担表を発表していただき、本日I-M実行委員会よりの報告とさせていただきます。

**帰国報告** 岡村 昂幸

(原稿は次号に掲載致します。)

**8月6日(木) 例会の案内**

ガバナー補佐訪問

4F「雅の間」

\*会長幹事懇親会

11時30分〜12時10分

4F「桐の間」

\*クラブアクセスフリー

13時40分〜15時30分

30F「梅の間」

事務局夏期休暇

8月12日(火)〜15日(金)

広報委員会

- 吉田 明夫・近藤 明美
- 浅井 隆宣・横内 恭